

夢と期待を乗せた客船が洋上を駆け巡った洋行の時代、
「海の外に出る」ことは人生を賭けた大事件であり、
船の上は異文化との交流の場だった。

船舶の絵はがき、港や船内の写真、出港のようす、豪華客船や
移民船の広告など、貴重な図版を140点所収！



江戸末期に洋行した福沢諭吉、ニューヨークからナポリに向かった有島武郎、ハイカラなフランスをめざした島崎藤村、船中を和服で通した新宿中村屋の創業者・相馬愛蔵、大使館に赴任する家族に同行した女性、新天地に将来をかけた南米への移民たち……。

船の上は異文化との交流の場で、人々は驚き、発見し、多くの貴重な経験をした。港と船と海をめぐる人々の営みを、当時の絵はがきや旅行パンフレットなどの多数の史料を示し、小説やエッセー、日記、さらには造船現場や客船を運航した人たちの視点も交え、さまざまな逸話や、想像を超える苦難の道中の数々を紹介する。

※平均で見開きに1点以上図版が入ります。

船旅の文化誌



A5判／並製／240ページ／定価2000円+税／ISBN978-4-7872-2093-6

2022年4月20日発売



■お問い合わせ先■

青弓社 営業部 電話 03-3268-0381 FAX 0120-55-3746 MAIL mail@seikyusha.co.jp

お名前；
住所；〒
電話番号；

書店用（番線）